

立候補予定者公開討論会マニフェスト

【～みんなが世に考える広島のみらいづくり～】

氏名 大西 理 (西)

I 基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

(現状認識)
昨年、日本共産党が行なった市政アンケートで、最近5年間の暮らしについて「悪くなった」が63%、「よくなった」は3.5%で生活の悪化が続いている。地域経済も低迷し、市の財政も改善されつつあるものの危機を脱していない。全体として、市民生活も地域経済も困難が続いている。
(目指す姿)
市民のくらし、福祉を全力で支え、中小零細企業や農林漁業など地域に根ざした産業を応援して、広島で地域でお金が循環する内発型、地域循環型の地域経済をつくる。ムダな大型開発は見直す。被爆者への支援を強め、核兵器廃絶・世界平和のセンターをめざす

II 短期で行う重要施策（1年以内） ※優先順に3つ

①高すぎる国民健康保険料を1世帯1万円引き下げる。国庫支出の割合を50%から24%に減らした国の責任が大きく、国の負担増を求めるとともに市としても一般会計からの繰り入れを増やす。国民健康保険取り上げゼロを継続する。
②子どもの医療費を小学校卒業まで完全無料とし、中学校卒業まで無料をめざす。政令市を理由に県が補助を廃止することには強く反対する。
③住宅リフォーム助成制度をつくり、中小業者の仕事おこしをすすめるとともに、リフォームの要求に応える。県内では三次市、庄原市、江田島市、三次いで県、廿日市市も実施を決めた。経済への波及効果が大きく、三次市では20倍以上の経済効果になっている。

III 中期で行う重要施策（4年以内） ※優先順に3つ

①小中学校校舎の耐震化をすすめ、普通教室のエアコン整備を3年計画ですすめる。子どもたちの勉強条件を整えるとともに、仕事で地域の業者に発注して仕事おこしを同時にすすめる。
②認可保育園の増設をすすめて保護者の保育要求に応える。公立保育園の民間移管はやめ、保育の市場化をすすめる「子ども・子育て新システム」には反対する。
③特別養護老人ホームを計画的に増設し、待機者の要求に応える。同時に、在宅サービスを充実させる。

IV 長期で行う重要施策 ※優先順に3つ

①中小企業振興基本条例を制定し、地域経済の主役である中小零細企業を応援する。市内事業所の実態調査を行い、業者・金融機関・市職員で構成する「中小企業振興会議」をつくって議論を重ね、知恵を出すようにする。
②高齢化した団地でバスや乗合タクシーなどの地域交通を整備する。
③世界で最初の被爆地として核兵器廃絶のメッセージを世界に発信し、世界平和のセンターをめざす。核兵器禁止条約のすみやかな交渉開始を各国政府に働きかけ、原爆症認定基準の改善、「黒い雨」地域指定の拡大、被爆2世への手帳交付など被爆者対策を前進させる。

プロフィール

氏名 大西 理

- 1966年2月、大阪府高槻市生まれ。
- 庚午中学校、井口高校卒業。大阪経済法科大学中退。
- 1984年3月、日本共産党入党。
- 高校生のときに日本民主青年同盟に加盟。広島県高校生平和ゼミナール実行委員、大阪府学連執行委員、日本民主青年同盟広島県委員会常任委員などを歴任。
- 1996年5月、日本共産党広島市西地区委員会に勤務。2003年、2005年の衆議院小選挙区広島3区に立候補。2010年2月より党広島県委員会常任委員、2010年7月の参議院選挙広島選挙区に立候補。
- 現在、党県常任委員、ヒロシマ革新懇代表世話人
- 西区天満町在住